

2024年度 木曾岬中学校 家庭科 学年別学習計画一覧

1 年 【35時間】		
目 標	家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 自分と家族、家庭生活と地域の関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	
学 期	単元名・教材名等	達成したい主な姿【評価の観点】
1	自分と家族の生活をみつめよう	【知技】 自分の成長と家族や家庭生活との関わり、家族・家庭の基本的な機能について理解している。 家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。 【思判表】 家族・家庭や地域における生活の中から家族・家庭生活について問題を見だし、課題をもって考え、解決している。
	食事の役割と中学生の栄養の特徴	【知技】 生活の中で食事が果たす役割や健康に良い食習慣、栄養素の種類と働き、中学生に必要な栄養の特徴について理解している。 【思判表】 自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。 【主】 自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
2	中学生に必要な栄養を満たす食事	【知技】 身近な食品の栄養的特質、中学生の1日に必要な食品の種類と概量、1日分の献立を作成する方法について理解している。 【思判表】 中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主】 中学生の1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	調理のための食品の選択と購入	【知】 日常生活と関連付け、用途に応じた食品(生鮮食品・加工食品)の選択や、食品の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできる。
3	日常食の調理と地域の食文化	【知技】 食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について適切にできる。 それぞれの材料(魚・肉・野菜)に適した加熱調理の仕方や基礎的な日常食の調理が適切にできる。 野菜・いも・肉・魚に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【思判表】 日常の1食分の調理について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫している。 野菜・いも・肉・魚の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主】 日常の1食分の調理や、野菜・いも・肉・魚の調理、和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	生活の課題と実践	【思】 自分や家族の食生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主】 自分や家族の食生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

2 年 【35時間】		
目 標	家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 自分と家族、家庭生活と地域の関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	
学 期	単元名・教材名等	達成したい主な姿【評価の観点】
1	衣服の選択と手入れ	【知】 衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用や個性を生かす着用について、衣服の計画的な活用や必要性について理解している。 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできる。 【思判表】 衣服の選択についてや材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方(洗濯、収納、補修、アイロンなど)について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主】 目的に応じた着用を踏まえた自分らしい着方について、工夫し創造し実践しようとしている。 衣文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 衣服の選択や、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方(洗濯、収納、補修、アイロンなど)について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	生活を豊かにするために	【知】 製作する物に適した材料や縫い方について理解している。 用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 【思判表】 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主】 生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 よりよい衣生活を目標として、衣服の選択と手入れや生活を豊かにするために工夫し創造し、実践しようとしている。
2	住まいの役割と安全な住まい方	【知】 家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能について理解している。 室内の空気環境や、家庭内の事故の予防や対策など家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について理解している。 住空間の整え方について理解している。 自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 【思判表】 室内の空気環境・家庭内の事故の予防や対策、自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、考え工夫している。 【主】 住文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 室内の空気環境、家庭内の事故の予防や対策、自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 よりよい住生活を目標として、住居の機能と安全な住まい方について、工夫し創造
	私たちの消費生活	【知】 物資・サービスや売買契約の仕組み、購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、消費者被害の背景とその対応について理解している。商品(物資・サービス)の選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 【思判表】 商品(物資・サービス)の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主】 計画的な金銭管理や消費者被害の対応についてや商品(物資・サービス)の選択について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
3	責任ある消費者になるために	【知】 消費者の基本的な権利と責任についてや自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 【思判表】 自立した消費者としての消費行動について考えたり、環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、考え工夫している。 自立した消費者としての社会や環境に配慮した生活について問題を見だし工夫している 【主】 消費者の権利と責任や自立した消費者としての環境に配慮した生活、社会や環境について課題の解決に主体的に取り組んだり、工夫し創造し、実践しようとしている。
	生活の課題と実践	【思】 自分や家族の食生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主】 自分や家族の食生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3 年 【17,5時間】		
目 標	家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 自分と家族、家庭生活と地域の関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	
学 期	単元名・教材名等	達成したい主な姿【評価の観点】
1	幼児の生活と家族	【知】 幼い頃を振り返り、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 幼児の体や幼児の心の発達の特徴、幼児の発達と生活の特徴について理解している。 幼児にとつての遊びの意義、幼児との関わり方について理解している。 【主】 幼児の観察について、工夫し創造し、実践しようとしている。
	生活の課題と実践	【思判表】 自分や家族、幼児の衣生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主】 自分や家族、幼児の衣生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
2	幼児の生活と家族	【知】 幼児との関わり方、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 【思判表】 幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。 幼児との関わり方での課題解決に向けた一連の活動について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 家族の立場から幼児との関わり方について考え、工夫している。 【主】 幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。 家族の立場からの幼児との関わり方について、工夫し創造し、実践しようとしている。
	これからの家族と地域	【知】 家族の互いの立場や役割、家族と協力することによって家族関係をよりよくできることを理解している。 高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方を理解している。 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについて理解している。 【思判表】 家族関係をよりよくする方法や高齢者との関わり方、地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主】 家族関係をよりよくする方法について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。 高齢者との関わり方、地域の人々と関わり、協働する方法について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。
3	私たちの消費生活と環境	【知】 購入や販売方法の特徴がわかり、計画的な金銭管理ひつようせいについて理解している。 売買契約の仕組み、消費者被害の仕組みやその対応について理解できる 【思判表】 物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主】 よりよい生活の実現に向けて、金銭管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	学習を終えて	【主】 家庭分野で学習したことを今後の生活に生かそうとしている。